

8-1-3 道路会社業務検討WG（首都高）

1. 道路会社業務検討WG（首都高）の概要

(1) 道路会社業務検討WG（首都高）の活動目的

首都高速道路株式会社との意見交換会をより実効化、具体化するために設置されたWGであり、首都高と協会双方の実務者からなる実務者検討会の運営を主な活動としている。

(2) WG（首都高）の構成

WGの委員は、対外活動委員会や技術委員会などの委員を中心に構成している。

なお、首都高速道路株式会社との実務者検討会は、協会側メンバーと首都高側メンバーで構成されており、業務に関する具体的な課題解決に取り組んでいる。

2. 主な活動の記録

(1) WG（首都高）の開催

令和3年度の意見交換会において明らかになった業務実施上の課題を解決するために実務者検討会を開催し、さらに実務者検討会と並行して本WGを開催した。

検討課題については、事前に協会案を作成し、実務者検討会で首都高側と協議して課題解決を図ることとした。令和4年度は1月26日にWGをWeb方式で開催し、その後は新型コロナの影響もありメール配信による情報共有、意見交換をすすめた。

昨年度の特徴としては、首都高が試行している「未経験技術者活用」契約について、試行して2年が経過したことから、WGメンバーと意見交換を行い、制度の課題を抽出し首都高への要望事項を整理するための方向性を整理した。

(2) 会員企業へのアンケートについて

毎年実施している首都高業務に対する会員企業へのアンケートについて、WGメンバーと意見交換を行った。令和4年度は上述した「未経験技術者活用」契約制度に関する問いを新規に設定し、実際に当該契約制度を適用して契約した会員企業から、幅広い意見をいただくこと

ができた。

（アンケート：令和4年6月～7月実施）

アンケート結果をもとに、年末の首都高との意見交換会に向けた要望に向け、首都高の実務者と何度も調整を重ね、最終的には双方で合意した内容で協会の要望書に盛り込み、首都高からも一定の理解を得ることができた。なお、新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり、首都高実務者との打ち合わせも基本的にはメールで行った。

(3) 設計変更ガイドライン説明の実施

過年度のアンケートで「周知が図られていない」との意見が寄せられていた設計変更ガイドラインについては、協会から周知の場を設けるよう要望していたが、令和4年6月16日にWeb方式で開催することができた。

なお、当日の参加者は26名であった。

3. 次年度の活動について

次年度も引き続き当WG（首都高）と実務者検討会を開催するが、会議方式は引き続きWeb会議方式・メールによる意見交換を基本とする。

主なテーマは、アンケートの継続実施、首都高への要望事項の調整である。

協会から要望していた「未経験技術者活用」契約制度の要件緩和について、本年4月に「担い手育成促進」に変更となり、応募要件も緩和されたことから、この変更による受注動向について注視していく予定である。

今後も首都高案件にかかる課題の整理、要望事項への結び付けを精力的に進めていく。

（道路会社業務検討WG（首都高）WG長

林 寛之）